

特定非営利活動法人日本火山学会 2022 年度通常総会 議事録

開催日時および開催場所

2022 年 5 月 25 日、12 時 30 分～13 時 30 分

千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場 103 号室で開催し Zoom による中継を実施。

初めに出席数を確認した。通常総会時の維持会員数は 282 名で、定款第 26 条の規定により総会の開会は維持会員の 1/3 以上の出席をもって成立するので、今回は 94 名以上の出席で成立する。ウェブサイトのフォームへの記入による表決権行使者 120 名を会長が出席者とみなし、これが定足数を超えたため本総会の開会は成立していることを確認した。これを受けて、総会の議長である会長が開会を宣言した。なお、25 日総会開始時の会場での参加者は 31 名、Zoom による中継の視聴参加者は 58 名であった。

議題 1 2021 年度決算案および 2021 年度決算に対する監査結果

財務委員から提示された 2021 年度決算案（別添資料 1）および監査結果（別添資料 2）は、賛成多数により提案通り承認された。（賛成 117 票、反対 1 票、白票 2 票）

議題 2 2022 年度予算案

財務委員会より 2022 年度予算案（別添資料 3）が提案され、賛成多数で提案通り承認された。（賛成 117 票、反対 1 票、白票 2 票）

議題 3 2022 年度役員選挙結果の承認

本会の役員（理事）の任期が 2022 年 6 月 30 日で満了することに伴い、2022 年度役員選挙が実施された。選挙管理委員会より 2022 年度役員選挙の開票経緯及び開票結果（別添資料 4）が報告され、賛成多数で委員会報告通り承認された。（賛成 118 票、反対 1 票、白票 2 票）

議題 4 選挙管理委員会の任務完了および選挙管理委員会解散の承認

選挙結果の報告及び承認を受けて、選挙管理委員会の任務が完了したことを確認し、選挙管理委員会を解散することを承認した（賛成 116 票、反対 1 票、白票 2 票）

議題 5 2022 年度役員（監事）人事の承認

2022 年度役員（監事）として、風早康平会員、武尾実会員を選出することを承認した。（賛成 116 票、反対 2 票、白票 2 票）

議題 6 議事録署名人の選出

議事録署名人として千葉達朗・高木朗充両副会長を選任した。（賛成 118 票、反対 0 票、白票 2 票）

報告事項

各賞選考委員会より、2022 年度日本火山学会各賞の授賞選考結果（別添資料 5）が第 1 回理事会で承認されたことを報告した。

常設委員会の設置規程のうち、各賞選考委員会設置規程を変更し、外部表彰の候補者の推薦選考も各賞選考委員会で行うこととする修正案が第 1 回理事会で承認されたことを報告した（別添資料 6）。

庶務委員会から、会員数動向などを報告した。（別添資料 7）

大会委員会から、2022 年度秋季大会の開催計画を報告した（別添資料 8）。また、2023 年度秋季大会の開催計画案を報告した（別添資料 9）。

以上、予定した審議事項をすべて審議し議決したことを確認し、会長が閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証します。2022 年 5 月 31 日

日本火山学会長 西村太志

議事録署名人 千葉達朗 高木朗充

2022 年度通常総会 議事録別添資料

別添資料 1 2021 年度決算案

2021 年度決算 (案)

ver. 220504b

勘定科目名称	2021 予算	2021 実績	実績差異	備考
《経常増減の部》				
【経常収入】				
【会費収入】				
維持会員会費	2,735,000	2,810,000	75,000	
学会会員会費	4,640,000	4,800,000	160,000	
一般会員会費	925,000	931,000	6,000	
【会費収入】 合計	8,300,000	8,541,000	241,000	
【寄付金収入】				
【寄付金収入】 合計	0	0	0	
【補助金等収入】				
文部科学省助成金収入	700,000	366,195	-333,805	
【補助金等収入】 合計	700,000	366,195	-333,805	
【事業収入】				
火山定期購読料	700,000	814,000	114,000	@11000×74
火山別刷販売金	200,000	1,795,938	1,595,938	特集号効果
予稿集販売金	200,000	102,814	-97,186	オンライン開催
書籍等販売金	300,000	50,414	-249,586	学会オリジナルノート販売
大会参加費等	1,360,000	1,837,000	477,000	オンライン開催
【事業収入】 合計	2,760,000	4,600,166	1,840,166	
【その他収入】				
受取 利息	300	137	-163	
雑 収 入	200,000	142,835	-57,165	著作権使用料等
【その他収入】 合計	200,300	142,972	-57,328	
【経常収入】 合計	11,960,300	13,650,333	1,690,033	
【経常支出】				
【事業費】				
新型コロナウイルス感染拡大による影響大				
火山学に関する定期大会等の開催費予稿集印				
刷費	200,000	195,855	-4,145	現地開催取りやめ（オンライン開催）のため。
予稿集発送費	50,000	17,574	-32,426	同
臨時雇賃金	300,000	44,275	-255,725	同
会場使用料・委託費	1,650,000	1,146,640	-503,360	同
旅費謝金	360,000	0	-360,000	同
通信運搬費	300,000	68,246	-231,754	同
機材借料	100,000	0	-100,000	同
現地討論会・交流会費	500,000	0	-500,000	現地討論会・交流会は中止。
雑費	800,000	139,357	-660,643	現地開催取りやめ（オンライン開催）のため。
火山学に関する定期大会等の開催費 合計	4,260,000	1,611,947	-	
			2,648,053	
会誌機関紙研究報告書等発行費火山印刷費				
費	3,760,000	3,509,171	-250,829	
火山発送費	500,000	491,727	-8,273	

別刷印刷費	200,000	142,285	-57,715	
別刷発送費	30,000	21,300	-8,700	
通信運搬費	20,000	12,544	-7,456	
火山雑費	450,000	230,670	-219,330	
会誌機関紙研究報告書等発行費 合計	4,960,000	4,407,697	-552,303	
<hr/>				
公開講座講演会等開催費臨時雇				
金	50,000	9,600	-40,400	現地開催取りやめ（オンライン開催）のため。
旅費謝金	300,000	0	-300,000	同
通信運搬費	100,000	98,996	-1,004	
印刷費	250,000	60,573	-189,427	現地開催取りやめ（オンライン開催）のため。
雑費	400,000	201,048	-198,952	同
公開講座講演会等開催費 合計	1,100,000	370,217	-729,783	
<hr/>				
火山学の普及啓発に関する事業費臨時雇				
賃金	8,000	0	-8,000	現地開催取りやめ（オンライン開催）のため。
旅費謝金	1,160,000	23,218	-	同
			1,136,782	
通信運搬費	80,000	3,024	-76,976	同
印刷費	583,000	0	-583,000	同
雑費	214,000	385	-213,615	同
火山学の普及啓発に関する事業費 合計	2,045,000	26,627	-	
			2,018,373	
<hr/>				
火山学に関する研究奨励表彰費その他印				
刷費	50,000	14,570	-35,430	
奨励費	400,000	0	-400,000	国際奨励賞なし
雑費	50,000	30,307	-19,693	
火山学に関する研究奨励表彰費 合計	500,000	44,877	-455,123	
<hr/>				
他団体援助金支出他団体援助金支				EPS と地学五輪は例年通り支出。サマस्क支出なし。
出	800,000	400,000	-400,000	
他団体援助金支出 合計	800,000	400,000	-400,000	

7
ver. 220504b

2021 年度決算（案）

勘定科目名称	2021 予算	2021 実績	実績差異	備考
【期首・期末棚卸】 売				
上原価	0	-120,103	-120,103	期首・期末棚卸高の差。「火山」在庫1年分増。
【期首・期末棚卸】 合計	0	-120,103	-120,103	
事業費 計	13,665,000	6,741,262	-6,923,738	-
	3,900,000		119,528	
【管理費】				
給料手当		3,780,472		
法定福利費	650,000	629,652	-20,348	
福利厚生費	10,000	7,160	-2,840	
旅費交通費	820,000	211,980	-608,020	理事会オンライン化等
通信運搬費	780,000	459,274	-320,726	
消耗品費	210,000	94,160	-115,840	
光熱水料費	120,000	89,910	-30,090	
賃借料	340,000	323,196	-16,804	

租税公課	150,000	135,706	-14,294	
支払手数料	840,000	814,512	-25,488	会計事務所
減価償却費	169,553	169,553	0	
徴収不能額	0	227,000	227,000	滞納除名者の未収会費
保険料	5,678	5,678	0	火災保険料1年分
雑費	760,000	420,873	-339,127	HP改修ほか.
管理費 計	8,755,231	7,369,126	-	
			1,386,105	
<hr/>				
【経常支出】 合計	22,420,231	14,110,388	-8,309,843	
当期経常増減額	-	-460,055	9,999,876	46万円の赤字 (例年並み)
	10,459,931			
《その他資金の部》				
【その他資金収入の部】				
【その他資金収入の部】 合計	0	0	0	
【その他資金支出の部】				
【その他資金支出の部】 合計	0	0	0	
<hr/>				
《正味財産増減の部》 当期正味財産				
増減額	-			
	10,459,931	-460,055	9,999,876	
前期繰越正味財産額	33,125,496	33,125,496	0	
次期繰越正味財産額	22,665,565	32,665,441	9,999,876	年度末における正味財産 (純資産)
<hr/>				
固定資産額		21,444,235		
期末棚卸高		1,163,076		
前払費用		8,517		
前期繰越収支差額		10,604,540		
次期繰越収支差額		10,049,613	-554,927	内 ACV (IAVCEI 寄付) 残金 31 万
<hr/>				


別添資料 2 2021 年度決算案に対する監査報告

監 査 報 告

特定非営利活動法人日本火山学会定款第 6 章第 4 9 条により、
2021 年度の事業・会計収支状況、預金・為替等の帳簿を監査した結
果、適正に執行されていることを認めます。

2022 年 4 月 28 日

特定非営利活動法人日本火山学会 会計監事

風早康平 

武尾実 

別添資料 3 2022 年度予算案

2022 年度予算(案)

ver.220514

勘定科目名称	2021 実績	2022 予算	予算額 差異	備考	余裕	2022 予算 -2021 予 算
《経常増減の部》						
【経常収入】						
【会費収入】						
維持会員会費	2,810,000	2,705,000	-105,000	2022/4/8 時点での会 員数	2,735,000	-30,000
学会会員会費	4,800,000	4,564,000	-236,000	2022/4/8 時点での会 員数	4,640,000	-76,000
一般会員会費	931,000	910,000	-21,000	2022/4/8 時点での会 員数	925,000	-15,000
【会費収入】合計	8,541,000	8,179,000	-362,000		8,300,000	-121,000
【寄付金収入】						
【寄付金収入】合計	0	0	0		0	0
【補助金等収入】						
文部科学省助成金収入 静岡県東部地域コンベン ションビューロー補助金	366,195	0	-366,195	2022 年度 は不採択	700,000	-700,000
【補助金等収入】合計	366,195	300,000	-66,195		700,000	-400,000
【事業収入】						
火山定期購読料	814,000	814,000	0	例年実績 例年実績 (2021 年度 - は特集号 効果が)	700,000	114,000
火山別刷販売金	1,795,938	400,000	1,395,938		200,000	200,000
予稿集販売金	102,814	100,000	-2,814	例年実績	200,000	-100,000
書籍等販売金	50,414	100,000	49,586	例年実績	300,000	-200,000
大会参加費等	1,837,000	5,270,000	3,433,000	参加費(値 上げ)301+ 団体展示 26 +現地 討論会 120 +交流会 80 去年予算 比+392	1,360,000	3,910,000
【事業収入】合計	4,600,166	6,684,000	2,083,834		2,760,000	3,924,000
【その他収入】						
受取 利息	137	200	63	著作権料な ど, 例年実 績	300	-100
雑 収 入	142,835	150,000	7,165		200,000	-50,000

【その他収入】合計	142,972	150,200	7,228		200,300	-50,100
【経常収入】合計	13,650,333	15,313,200	1,662,867	うち現地討論 120・交流 80	11,960,300	3,352,900
【経常支出】						
【事業費】						
火山学に関する定期大会等の開催費						
予稿集印刷費	195,855	200,000	4,145		200,000	0
予稿集発送費	17,574	20,000	2,426		50,000	-30,000
臨時雇賃金	44,275	300,000	255,725		300,000	0
会場使用料・委託費	1,146,640	2,430,000	1,283,360	ハイブリッド開催:会場使用 83+ハイブリッド委託 160	1,650,000	780,000
旅費謝金	0	355,000	355,000	大会 30, 庶務 5.5	360,000	-5,000
通信運搬費	68,246	100,000	31,754		300,000	-200,000
機材借料	0	50,000	50,000		100,000	-50,000
現地討論会・交流会費	0	2,280,000	2,280,000	現地討論 3万×20人×2回, 交流 6000円×180人	500,000	1,780,000
雑費	139,357	320,000	180,643	消耗品, クレジット決済, 庶務 7, 余裕 10	800,000	-480,000
火山学に関する定期大会等の開催費 合計	1,611,947	6,055,000	4,443,053	うち現地討論 120・交流 108, 余裕 10; 去年予算比 +176	10 4,260,000	1,795,000
会誌機関紙研究報告書等発行費						
火山印刷費	3,509,171	3,920,000	410,829	火山 276(69×4)、カラー負担 66, 余裕 50; 紙代・印刷費の値上がり	3,760,000	160,000
火山発送費	491,727	550,000	58,273		500,000	50,000
別刷印刷費	142,285	250,000	107,715		200,000	50,000
別刷発送費	21,300	30,000	8,700		30,000	0
通信運搬費	12,544	20,000	7,456		20,000	0
火山雑費	230,670	450,000	219,330	J-STAGE 関係:火山 20 予稿集 15 余裕 10	450,000	0

会誌機関紙研究報告書等 発行費 合計	4,407,697	5,220,000	812,303	余裕 60	60	4,960,000	260,000
公開講座講演会等開催費							
臨時雇賃金	9,600	100,000	90,400			50,000	50,000
旅費謝金	0	700,000	700,000			300,000	400,000
通信運搬費	98,996	200,000	101,004			100,000	100,000
印刷費	60,573	250,000	189,427			250,000	0
雑費	201,048	200,000	-1,048			400,000	-200,000
公開講座講演会等開催費 合計	370,217	1,450,000	1,079,783	去年オンラ イン、今年 現地、科研 費が今年 は不採択		1,100,000	350,000
火山学の普及啓発に関する 事業費							
臨時雇賃金	0	8,000	8,000	防災 0.8 国際 0(ACV 無)、 学校 10、防 災 10、将来 20、GP5、事 業 7		8,000	0
旅費謝金	23,218	520,000	496,782	防災 2、事 業 4		1,160,000	-640,000
通信運搬費	3,024	60,000	56,976	防災(シン ポ 8、活火 山登山パン フ 25)		80,000	-20,000
印刷費	0	330,000	330,000	国際 0、学 校 2、事業 7.6、防災 0.1、余裕 2.3		583,000	-253,000
雑費	385	120,000	119,615	余裕 2.3、 将来 20		214,000	-94,000
火山学の普及啓発に関する 事業費 合計	26,627	1,038,000	1,011,373		2.3	2,045,000	-1,007,000
火山学に関する研究奨励 表彰費							
その他印刷費	14,570	50,000	35,430	各賞 5(受 賞 8 件)		50,000	0
奨励費	0	400,000	400,000	国際 20x2		400,000	0
雑費	30,307	50,000	19,693	各賞 5		50,000	0
火山学に関する研究奨励 表彰費 合計	44,877	500,000	455,123			500,000	0
他団体援助金支出							
他団体援助金支出	400,000	700,000	300,000	EPS20、地 学五輪 20、 サマスク 23.6、余裕 6.4		800,000	-100,000
他団体援助金支出 合計	400,000	700,000	300,000	余裕 6.4	6.4	800,000	-100,000
【期首・期末棚卸】							
売上原価	-120,103	0	120,103			0	0
【期首・期末棚卸】 合計	-120,103	0	120,103			0	0
事業費 計	6,741,262	14,963,000	8,221,738	余裕 78.7	78.7	13,665,000	1,298,000

【管理費】

給料手当	3,780,472	3,900,000	119,528		3,900,000	0
法定福利費	629,652	650,000	20,348	社保	650,000	0
福利厚生費	7,160	10,000	2,840	健診	10,000	0
旅費交通費	211,980	220,000	8,020	通勤費 21、 理事会旅 費 0、余裕 1	820,000	-600,000
通信運搬費	459,274	450,000	-9,274	サーバ 2、 電話 10、理 事選挙 4.2、名簿 1、送料 11、富士火 山送料 10、 余裕 7 コピー機ト ナー等	780,000	-330,000
消耗品費	94,160	210,000	115,840	マンション 管理、コピ ー機リー ス、他	210,000	0
光熱水料費	89,910	120,000	30,090		120,000	0
賃借料	323,196	340,000	16,804	会計事務 所、振込手 数料	340,000	0
租税公課	135,706	150,000	14,294	定額	150,000	0
支払手数料	814,512	840,000	25,488	定額	840,000	0
減価償却費	169,553	169,553	0	定額	169,553	0
徴収不能額	227,000	0	-227,000	定額	0	0
保険料	5,678	5,678	0	HP 改修 20、事務局 18.5(会費、 封筒、ソフト 等)、名簿 管理費 15.4、余裕 6.1	5,678	0
雑費	420,873	600,000	179,127		760,000	-160,000
管理費 計	7,369,126	7,665,231	296,105	余裕 14.1	14.1 8,755,231	-1,090,000
【経常支出】合計	14,110,388	22,628,231	8,517,843	余裕 92.8 (去年より 余裕を圧 縮; 去年は 余裕 267)	92.8 22,420,231	208,000
当期経常増減額	-460,055	-7,315,031	-6,854,976	実際はここ までにはな らない見込 み(ただし 200 万円程 度赤字の 恐れ)	- 10,459,931	3,144,900

《その他資金の部》

【その他資金収入の部】						
【その他資金収入の部】合						
計	0	0	0		0	0
【その他資金支出の部】						
【その他資金支出の部】合						
計	0	0	0		0	0
《正味財産増減の部》						
当期正味財産増減額	-460,055	-7,315,031	6,854,976	-	-	3,144,900
前期繰越正味財産額	33,125,496	32,665,441	-460,055		33,125,496	-460,055
				前期繰越 正味財産 額+当期 正味財産 増減額		
次期繰越正味財産額	32,665,441	25,350,410	7,315,031	-	22,665,565	2,684,845
固定資産額	21,444,235	21,424,682	-19,553	前期額-減 価償却+退 職引当金 支出(15 万)		
期末棚卸高	1,163,076	1,163,076	0	去年度実 績		
前払費用	8,517	2,839	-5,678	保険料未 経過分		
前期繰越収支差額	10,604,540	10,049,613	-554,927			
				次期繰越 正味財産 -固定資 産-期末 棚卸-前 払費		
次期繰越収支差額	10,049,613	2,759,813	7,289,800	-		

2022年 特定非営利活動法人日本火山学会 理事選挙開票結果報告書

2022年3月14日執行の 特定非営利活動法人日本火山学会 理事選挙の開票結果は、別添得票計算表のとおりです。

2022年 3月14日

特定非営利活動法人日本火山学会 選挙管理委員長

篠原 宏志



特定非営利活動法人日本火山学会長 西村 太志 様

2022年・理事選挙 開票結果

開票日時 2022年3月14日（月） 9:00-11:45
 場所 産業技術総合研究所 第七事業所860号室
 出席者 選挙管理委員長 篠原宏志
 選挙管理委員 鬼澤真也・長井雅史
 立会人 風早竜之介・田口理恵
 開票作業・補助員 岩橋くるみ・松本恵子
 南 裕介・森田雅明

有権者数 1,077
 投票者数 416
 有効投票者数 414
 無効投票者数 2

有効投票総数 4,941
 白票 1,269
 無効投票総数 30
 投票総数 6,240

順位	選挙人名簿番号	候補者・所属	候補者・氏名	得票数
1	4	東京大学地震研究所	市原美恵	355
2	8	(国研) 産業技術総合研究所	下司信夫	344
3	10	アジア航測株式会社	千葉達朗	339
4	2	北海道大学大学院理学研究院	青山 裕	334
5	9	気象研究所火山研究部	高木朗充	327
6	14	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター	宮縁育夫	322
7	11	(国研) 産業技術総合研究所	東宮昭彦	320
8	12	京都大学防災研究所	中道治久	316
9	13	(国研) 防災科学技術研究所	藤田英輔	313
10	15	東北大学大学院理学研究科	山本 希	310
11	3	山梨県富士山科学研究所	石峯康浩	309
12	7	東北大学大学院理学研究科	奥村 聡	308
13	1	東京大学地震研究所	青木陽介	295
14	6	鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会	大野希一	281
15	5	(国研) 防災科学技術研究所	上田英樹	277

以上、当選

16 (次点)	16	北翔大学教育文化学部教育学科	横山 光	191
			総投票数	4941

別添資料 5 2022 年度各賞選考結果（第 1 回理事会資料）

2022 年度日本火山学会各賞の授賞選考結果

各賞選考委員会 高木

日本火山学会表彰規等の規約に基づき、2022 年度の日本火山学会各賞の授賞者を選考した。選考結果を下記のとおり報告するので検討いただきたい。

選考期間： 2022 年 3 月 7 日～4 月 28 日

委員； 高木、及川、小園、角野、橋本、伴、前野、山里

■日本火山学会賞（応募：1 件）

被推薦者： 篠原宏志

被推薦者所属： 産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門

自薦／他薦： 他薦

推薦者： 大場 武、森 俊哉、風早竜之介、森田雅明

授賞対象となる研究課題名あるいは貢献活動名：

マagma揮発性物質の観測・実験・モデリングに基づく火山現象解明への貢献

授賞理由：

篠原氏は、高温の火山ガスに含まれる塩化水素濃度を決める要因を解明するためメルトと流体相間の塩化物分配実験やモデル化を行い、塩化物の存在下では流体相の HCl/NaCl は圧力が低いほど上昇することを明らかにするなど、火山ガス研究分野で国内外における火山学への多大なる貢献があった。その他にも、薩摩硫黄島での観測により着想を得た火道内対流モデルの提案等、独創的な研究成果による火山学への寄与にとどまらず、モニタリングの重要性をふまえた火山ガス観測手法の研究開発も行う等、国際的にも評価される火山ガス研究の第一人者であり、国内外を問わず本研究分野を牽引してきた。さらには、日本火山学会会長、IAVCEI 執行役員や、JVGR 誌等の国際誌の編集者を務め、国際的な火山学コミュニティにおける日本の地位向上に寄与した。

以上のように、日本の火山学の発展に対し長年において特段の貢献があった篠原氏を 2022 年度日本火山学会賞授賞者に選定する。

■日本火山学普及啓発賞（応募：なし）

■日本火山学会優秀学術賞（応募：なし）

■日本火山学会研究奨励賞 1件（応募：1件）

被推薦者： 松本恵子

被推薦者所属： 産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門

自薦／他薦： 他薦

推薦者： 篠原宏志、三輪学央、中村美千彦、下司信夫

授賞対象となる研究課題名あるいは貢献活動名：

火山噴出物組織の形成・分解過程に着目した噴火ダイナミクスの再構築

授賞理由：

松本氏の岩石の微細組織解析を主な手法とした研究成果は火山噴火現象の理解に大きく貢献している。また、熱履歴、酸化反応履歴を解析する研究手法も独自性が高い。これら手法を用いた火山噴火の時間推移の解明は火山学への重要な貢献であるとともに、噴火の現状把握や事後予測に関する情報の提供に資するものである。

以上のように、火山学に関する優れた論文を発表し、将来も火山学の発展への貢献が期待されることから、松本氏を2022年度日本火山学会研究奨励賞授賞者に選定する。

■日本火山学会論文賞 2件

・1件目

著者： Masahiro Ichiki, Toshiki Kaida, Takashi Nakayama, Satoshi Miura, Mare Yamamoto, Yuichi Morita & Makoto Uyeshima (2021)

論文名： Magma reservoir beneath Azumayama Volcano, NE Japan, as inferred from a three-dimensional electrical resistivity model explored by means of magnetotelluric method. Earth Planet Space, 73, 150, doi:10.1186/s40623-021-01451-y.

授賞理由：

吾妻山の3次元比抵抗構造解析によってマグマ供給系を可視化したことに加え、比抵抗値から地下の流体の体積分率の推定、さらには熱水流体の存在、地殻

変動源と比抵抗構造との位置関係の必然性を論じるなど、意欲的に考察を展開した。また、流体の割合をモニタリングすることで噴火の準備過程を把握できる可能性を示した点で、防災上も極めて重要な論文である。

以上のように、火山学に関する独創的で特に優れた本論文を発表した Ichiki et al. (2021) を 2022 年度日本火山学会論文賞授賞者に選定する。

・ 2 件目

著者： Akihiko Terada, Wataru Kanda, Yasuo Ogawa, Taishi Yamada, Mare Yamamoto, Takahiro Ohkura, Hiroshi Aoyama, Tomoki Tsutsui & Shin'ya Onizawa (2021)

論文名： The 2018 phreatic eruption at Mt. Motoshirane of Kusatsu-Shirane volcano, Japan: eruption and intrusion of hydrothermal fluid observed by a borehole tiltmeter network. Earth Planet Space, 73, 157, doi:10.1186/s40623-021-01475-4.

授賞理由：

傾斜変動の解析を基本としながら、地震発生場との比較、噴煙映像に基づく熱放出過程の解析との比較など、地下・地表面現象を対象とした多項目観測に基づき、2018 年本白根噴火の発生場をふまえた包括的モデルを提示した。傾斜データから地下で動いた熱水量を評価するとともに、気象レーダを使用して放出された熱水量の見積もりも行い、地下の熱水系の物質とエネルギー収支から現象を考察した新規性に富む論文である。

以上のように、火山学に関する独創的で特に優れた本論文を発表した Terada et al. (2021) を 2022 年度日本火山学会論文賞授賞者に選定する。

■ 日本火山学会学生優秀論文賞 1 件（応募：1 件）

被推薦者： 村松 弾

被推薦者所属： 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻
（現所属：東京大学地震研究所）

自薦／他薦： 自薦

照会者： 相澤広記、松島 健、市原美恵

授賞対象となる研究課題名あるいは貢献活動名：

Dan Muramatsu, Mie Ichihara, Takeshi Matsushima, Osamu Kuwano, Yasuhisa Tajima (2022) Surface eruptive dynamics of 2018 small phreatic eruption

of Iwo-Yama volcano, Japan: Constraints from seismo-acoustic observation and mud suspension rheology. J. Volcanol. Geotherm. Res., 421, 107452, doi:10.1016/j.jvolgeores.2021.107452.

授賞理由：

本論文は、霧島山硫黄山の小規模水蒸気噴火のメカニズムを、火口近傍での空振・地震観測、及び映像記録に基づき解明した、独自性の高い研究成果である。得られた空振波形の特徴は噴出物のレオロジー特性の変化が支配するという仮説を実験結果も統合することで検証した点は独創的である。今後類似の噴火現象の観測やレオロジー理論によるモデリング、実験などを通して検証されるべき新たなフレームワークを示した。

以上のように、火山学に関する独創的で特に優れた論文を投稿時点において学生として筆頭執筆した村松氏を 2022 年度日本火山学会学生優秀論文賞授賞者に選定する。

別添資料 6 各賞選考委員会設置規定の修正（第1回理事会資料の抜粋）

表彰に関わる規程の修正（案）

各賞選考委員会 高木

○承認事項 規程の修正（案）

表彰に関わる、常設委員会設置規程（日本火山学会各賞選考委員会規程）を下記のとおり修正することを提案する。

■常設委員会設置規程

特定非営利活動法人日本火山学会各賞選考委員会規程
(修正前)

2. 各賞選考委員会は以下に関する任務を行なう。
 - ・特定非営利活動法人日本火山学会表彰規程に定める各賞の選考に関する事項

(修正後)

2. 各賞選考委員会は以下に関する任務を行なう。
 - ・特定非営利活動法人日本火山学会表彰規程に定める各賞の選考に関する事項・特定非営利活動法人日本火山学会以外の団体・個人が行う表彰に係る推薦の候補者の選考等に関する事項

<全文（下線部を追加）>

常設委員会設置規程

7. NPO 法人 日本火山学会各賞選考委員会規程

特定非営利活動法人日本火山学会各賞選考委員会規程

(2003年10月12日臨時総会報告, 2008年10月12日臨時総会報告, 2010年10月10日臨時総会報告, 2013年9月30日臨時総会報告, 2015年11月3日修正, 2016年5月24日修正, 2022年5月25日総会報告)

-
1. 各賞選考委員会に関する運営はこの規程によるものとする.
 2. 各賞選考委員会は以下に関する任務を行なう。
 - ・特定非営利活動法人日本火山学会表彰規程に定める各賞の選考に関する事項.
 - ・特定非営利活動法人日本火山学会以外の団体・個人による表彰に係る推薦の候補者の選考等に関する事項.

3. 各賞選考委員会委員は会員7名以上で構成される。委員は選考委員が受賞対象の直接的な関係者となった場合には、該当する賞の選考には関与しないものとする。委員の任期は1年とし、原則として連続2期までとする。

4. 各賞選考委員会は、日本火山学会学生優秀発表賞の選考に当たり、秋季大会参加者の中から選考委員を指名し、選考に関する意見を聴取することができる。

附則 1. この規程の変更は、理事会で承認する。

別添資料 7 入退会資料

特定非営利活動法人 日本火山学会（2022年5月）入退会・報告

〈会員関係〉

1. 入退会

2022年度・入会（承認済み） 個人：7名維持
会員 0名，学術会員 5名，一般会員 2名

2022年度・再入会（承認済）個人：2名
維持会員 0名，学術会員 2名，一般会員 0名

2021年度退会 個人：23名維持会員 7名，学術
会員 15名，一般会員 1名

2021年度・学生会員期間満了退会：31名維持
会員 1名，学術会員 28名，一般会員：2名

2022年度・除名対象 個人：12名
維持会員 2名，学術会員 8名，一般会員 2名

2. 会員数

	維持会員	学術会員	一般会員	計
2021年度臨時総会時（個人）	281	669	93	1043
2021年度臨時総会時（団体）	2	0	18	20
名誉会員	10	0	0	10
2021年度・入会（秋季大会後）	0	4	0	4
2021年度末・合計	293	673	111	1077
2022年度・入会・承認済（個人）	0	5	2	7
2022年度・再入会・承認済（個人）	0	2	0	2
2022年度・入会（団体）	0	0	0	0
2021年度・会員種別変更（個人）	-2/1	-1	2	0
2021年度・退会（個人）	7	15	1	23
2021年度・学生会員期間満了退会	1	28	2	31
逝去	1	3	0	4

2022 年度通常総会時（個人）・合計	271	633	94	998
2022 年度通常総会時（団体）・合計	2	0	18	20
名誉会員	10	0	0	10
2022 年度臨時総会時・合計	283	633	112	1028
2022 年度・除名対象（個人）	2	8	2	12

2022 年度・通常総会時維持会員（個人）：一般 271 名 学生 0 名 学術会員：一般 582 名 学生 51 名 一般会員（個人）：一般 93 名 学生 1 名

2. 2022 年度・除名対象：12 名

※6 月下旬に除名警告書を発送後，8 月末日までに会費の支払や会員資格継続希望の連絡がなければ除名。

別添資料 8 2022 年度秋季大会開催計画

8-1 学術講演会日程変更

・経緯

学術講演を当初予定していた 2022 年 11 月 3 日（水）-5 日（金）から 2022 年 10 月 12 日（水）-14 日（金）（ハイブリッド）および 10 月 17 日（月）-19 日（オンライン）に変更する。

LOC では 2021 年初頭には三島市を通して学術講演会場（三島市民文化会館）を特例で予約していた（通常は 1 年前から予約が可能）。特例での予約が三島市民会館に見逃され、他の予約を入れてしまった。複数の団体の予約であるために日程を変えてもらうための交渉は困難であることから、火山学会側が日程を移動することを決断した。

・再発防止策

秋季大会の予約は、会場にとって特例として早期に予約されていることがあるため、予約が見逃される可能性がある。また、公的機関の場合、年度替わりで担当者が変わることがあるために予約が引き継がれない可能性もある。そのため、大会委員会・LOC と会場側で定期的に連絡を取る必要があるだろう。

8-2 予稿締め切り日程

Web による申し込み締め切り

2022 年 9 月 1 日（木）午後 4 時

郵送による申し込み締め切り

2022 年 8 月 25 日（木）必着

8-3 口頭発表

2022 年 10 月 12 日（水）-14 日（金）にかけてハイブリッド形式で行う。

2 会場で行うが、会場は十分に大きい（A 会場 1200 名、B 会場 350 名）ため入場制限などは行わない。

発表者が現地でのみ発表を行うかオンラインでの発表も認めるかについては未定。

8-4 ポスター発表

2022 年 10 月 12 日（水）-14 日（金）に対面で、10 月 17 日（月）-19 日（水）にかけてオンラインで行う。

ポスター会場は密を避けつつ全てのポスター発表を行うほどのスペースはないので、対面とオンライン両方での発表を行う。

対面発表とオンライン発表を同日に行うと現地参加者のネット環境に問題が生じるので、対面発表とオンライン発表を別日に行うことにした。

対面発表は学生・若手研究者を優先とする予定であるが詳細は検討中。

対面発表をした者がオンライン発表をすることを義務とするかどうかは検討中。

8-5 交流会は対面で行う予定であるが詳細は未定。

一般公開行事は、10 月 15 日（土）もしくは 11 月 6 日（土）に行う予定。

現地討論会は、富士山・伊豆半島で行う予定であるが、日程など詳細は未定。

8-6 参加費

過去2年間のオンライン開催よりも会場費とハイブリッド開催委託料に余計に費用がかかる（今年度はハイブリッド開催であるため）ため、参加費の値上げが必要である。

社会人 10,000 円（昨年度 5,000 円）

学生 3000 円（昨年度 2000 円）

シニア 3000 円（昨年度 2000 円）

非会員 15000 円 （昨年度 7000 円）

別添資料 9 2023 年度秋季大会開催計画

2021 年 12 月から 2022 年 2 月にかけて公募を行い、1 件の応募があった。応募書類を審査した結果、秋季大会開催に問題がないという結論に至った。

開催時期（予定）

学術講演会：2023 年 10 月 18 日（水）-20 日（金）

現地討論会：2023 年 10 月 21 日（土）

一般講演会・公開講座：未定

開催場所（予定）

学術講演会：かごしま県民交流センター

現地討論会：桜島火山

一般講演会：未定